

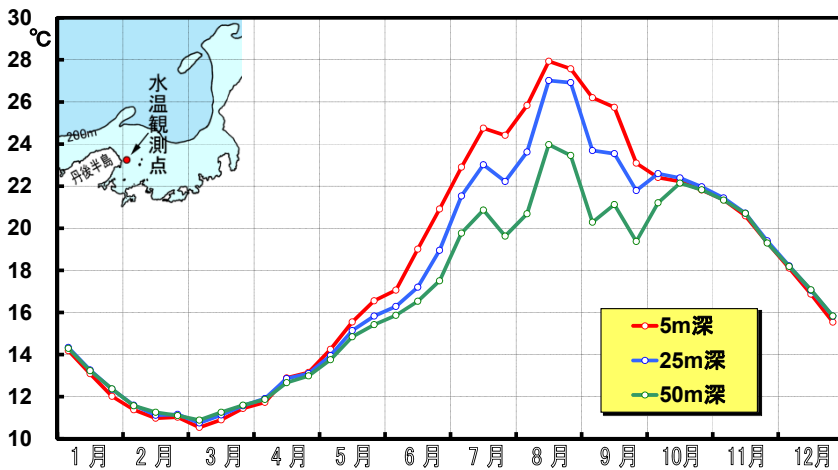
京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況 ～2011年1月から12月まで～

表層の水温は、冬～春に例年並みか低め、夏に例年より高め、9月に入ると相次ぐ台風の影響とみられる降温で例年より低め、10月の降温は鈍くて11月には例年より高めとなり、全般に短期的な変化が目立ちました。

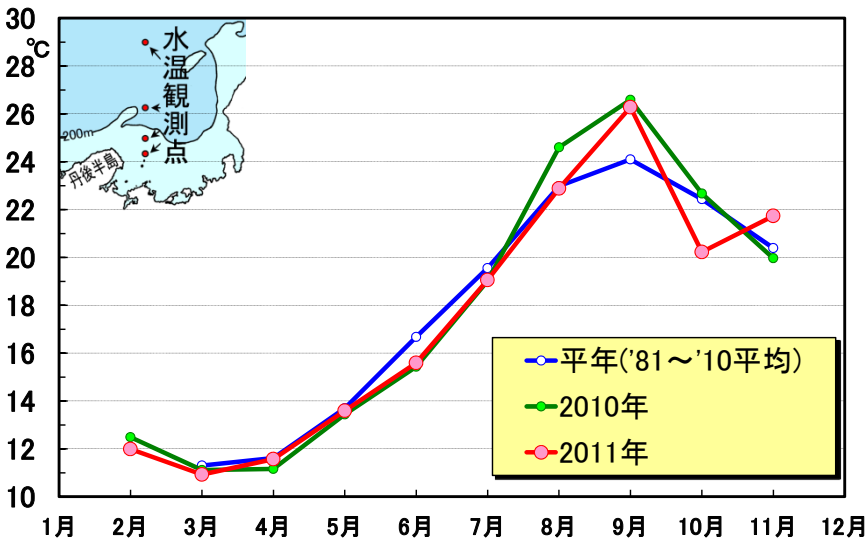
京都府沿岸(伊根町新井崎地先 水深64m)の水温



月平均水温和平年差(括弧内)

単位: °C	5m 深	25m 深	50m 深
1月	13.1(-0.4)	13.3(-0.4)	13.3(-0.3)
2月	11.1(-0.5)	11.3(-0.6)	11.3(-0.6)
3月	11.0(-0.6)	11.1(-0.6)	11.2(-0.6)
4月	12.6(-0.7)	12.6(-0.5)	12.5(-0.6)
5月	15.4(-0.7)	15.0(-0.7)	14.7(-0.7)
6月	19.0(-0.7)	17.5(-1.1)	16.6(-1.0)
7月	24.0(+0.4)	22.3(±0)	20.1(-0.4)
8月	27.1(+0.9)	25.9(+1.5)	22.7(+1.0)
9月	25.0(-0.3)	23.0(-0.8)	20.3(-1.2)
10月	22.2(-0.2)	22.3(±0)	21.7(+0.3)
11月	20.4(+0.9)	20.5(+1.0)	20.4(+1.0)
12月	16.8(+0.4)	17.0(+0.5)	17.0(-0.5)

京都府沖合の表層水温(0~50m 深平均)



各月水温和平年差

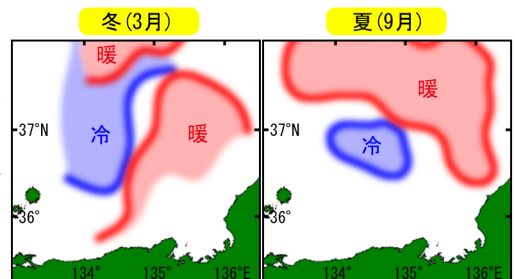
単位: °C	水温	平年差	評定
1月			観測なし
2月	12.0		データ過少につき評定なし
3月	10.9	-0.4	平年並み
4月	11.6	±0	平年並み
5月	13.6	-0.1	平年並み
6月	15.6	-1.1	かなり低め
7月	19.1	-0.5	やや低め
8月	22.9	-0.1	平年並み
9月	26.3	+2.2	かなり高め
10月	20.2	-2.2	はなはだ低め
11月	21.7	+1.3	はなはだ高め
12月			観測なし

京都府沖合の水塊配置

資料元: (独)日本海区水産研究所

暖水域は、その形状を変化させながら山陰から若狭の沖合に分布しました。

若狭沖の冷水域の勢力は弱めで、離岸気味の期間が多かったようです。

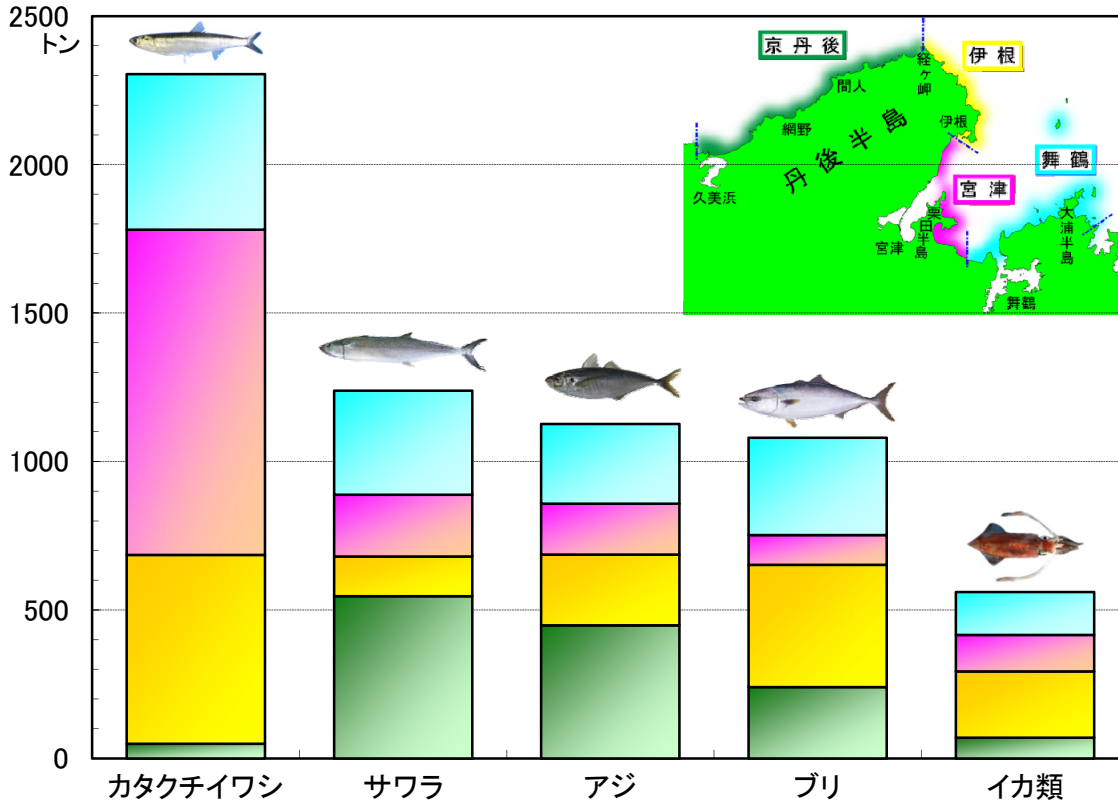


漁模様 ～2011年1月から12月まで～

【定置網漁業】

主要魚介類のうち、サワラやブリはほぼ平年並みでしたが、マアジが2010年に引き続き不漁でした。全体では平年を下回る水揚げでした。

2011年の地域別漁獲量(上位5魚種)

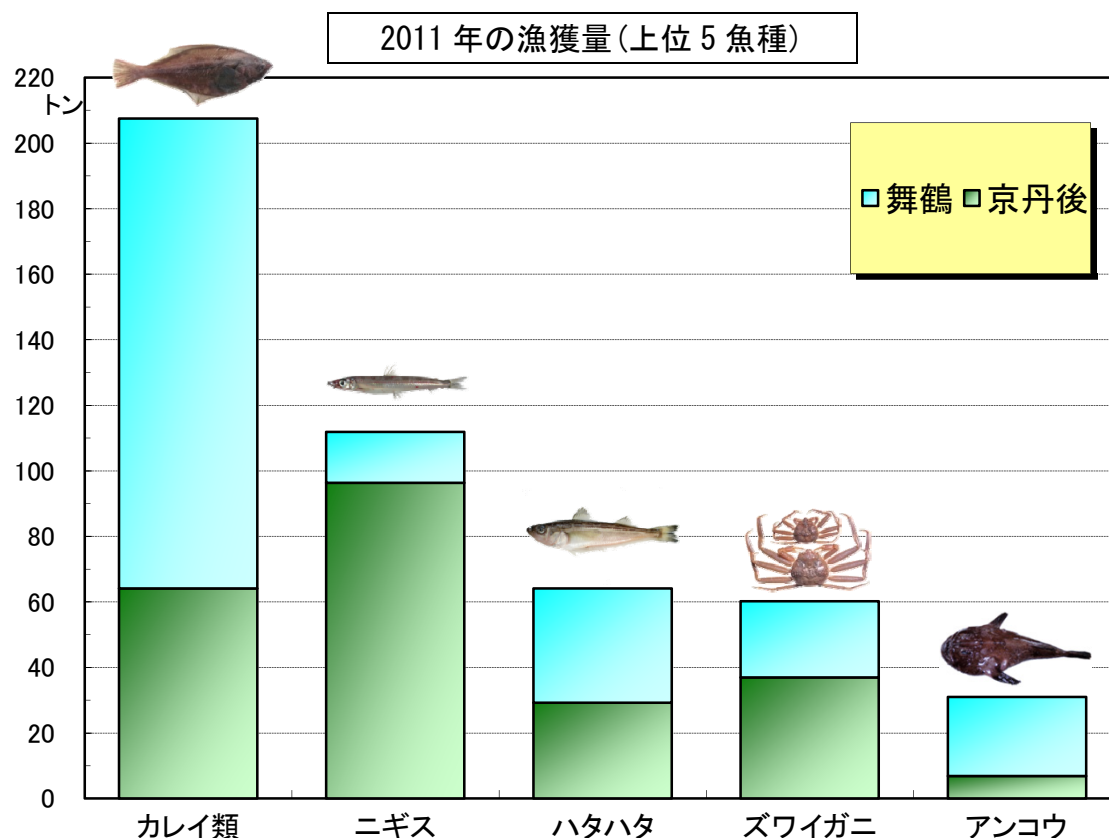


年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計					
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考	
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	2304	1815 (127%)	2684 (86%)	<カタクチイワシ> 混ぜり銘柄(カタクチイワシの他に小さなアジ類やサバ類、マイワシ等も混ざったもの)も含めて集計。	
サワラ	1238	1522 (81%)	1303 (95%)	<サワラ> さごし銘柄が820トン、さわら銘柄が418トンでした。	
マアジ	1127	782 (144%)	2159 (52%)	<ブリ> つばす銘柄が698トン、はまち銘柄が162トン、まるご銘柄が80トン、ぶり銘柄が140トンでした。	
ブリ	1080	1713 (63%)	1195 (90%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が296トン、スルメイカが117トン、アオリイカ(秋いか)が95トン、ヤリイカ(冬いか)が25トン、ソデイカ(たるいか)が18トンなどでした。	
イカ類	560	440 (127%)	475 (118%)		
マイワシ	494	27 (1796%)	35 (1426%)		
カマス類	302	274 (111%)	184 (164%)		
サバ類	270	75 (359%)	329 (82%)		
ウマヅラハギ <small>(長はぎ)</small>	223	154 (145%)	144 (155%)		
トビウオ類	158	86 (184%)	162 (97%)		
その他	1224	1821 (67%)	1885 (65%)		
合計	8979	8708 (103%)	10554 (85%)		

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

ハタハタなどの落ち込みが影響し、全体では平年の7割の漁獲量でした。

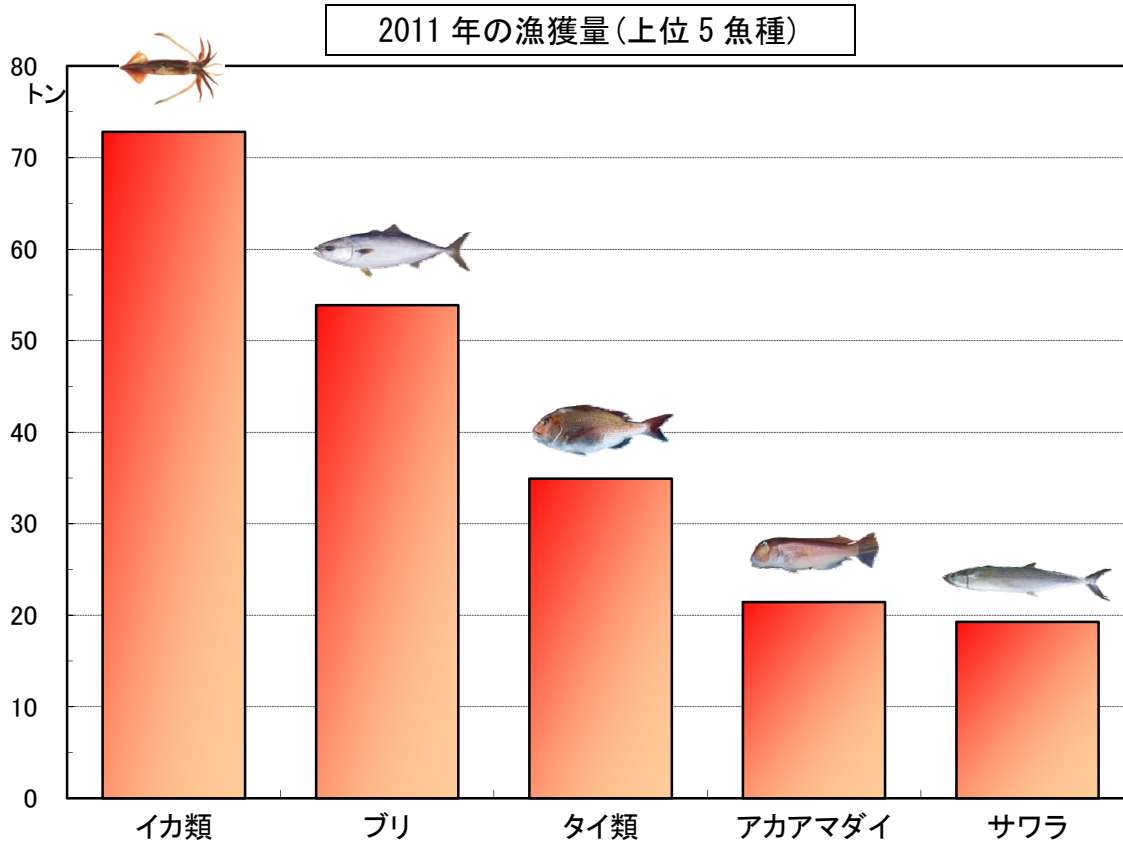


年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	207	245 (85%)	248 (84%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が136トン、ソウハチ(えてがれい)が23トン、ヒレグロ(黒がれい)が20トン、ヤナギムシガレイ(ささがれい)が16トン、ムシガレイ(水がれい)が8トンなどでした。
ニギス(沖きす)	112	56 (200%)	108 (103%)	
ハタハタ	64	75 (85%)	199 (32%)	
ズワイガニ	60	102 (59%)	117 (51%)	
アンコウ	31	29 (107%)	28 (110%)	
タイ類	17	8 (208%)	11 (145%)	<ズワイガニ> オス(松葉がに)が31トン、メス(せこがに)が29トンでした。
イカ類	14	9 (150%)	11 (130%)	
貝類	9	10 (89%)	9 (102%)	
タコ類	9	9 (92%)	18 (49%)	
エビ類	6	6 (104%)	7 (92%)	
その他	37	40 (94%)	49 (77%)	
合計	566	590 (96%)	805 (70%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】







主な釣獲対象となるイカ類やブリ，アカアマダイなどいずれも平年を下回り，全体では前年の9割，平年の8割弱の水揚げでした。



年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	73	86 (85%)	116 (63%)	<イカ類> スルメイカが35トン，ケンサキイカ(白いか)が28トン，ソデイカ(たるいか)が8トン，アオリイカ(秋いか)が1トンなどでした。
ブリ	54	56 (95%)	68 (79%)	
タイ類	35	40 (87%)	36 (98%)	
アカアマダイ(ぐじ)	21	20 (108%)	27 (78%)	
サワラ	19	26 (73%)	24 (79%)	
メバル類(もいお)	15	16 (93%)	16 (97%)	<ブリ> はまち銘柄が3割弱，まるご銘柄とぶり銘柄がそれぞれ3割強でした。
ウマヅラハギ(長はぎ)	13	12 (113%)	11 (123%)	
マアジ	5	5 (117%)	9 (62%)	
メダイ(たいしょうお)	5	8 (67%)	7 (73%)	
マルアジ(青あじ)	3	1 (432%)	1 (596%)	
その他	26	30 (84%)	45 (57%)	
合計	270	300 (90%)	360 (75%)	

平年は過去10年平均

【2011 年の特異的なできごと】

冬	<ul style="list-style-type: none"> ・サワラが主に定置網で好漁 (1月に平年比2.5倍の約68トン) ・3月11日に東北地方太平洋沖地震発生。 (舞鶴でも津波による25cmの潮位変化を観測(舞鶴海洋気象台調べ)) 	
春	<ul style="list-style-type: none"> ・マイワシ(主に2010年産まれの1歳魚)が定置網で好漁 (4~5月に平年比約50倍の489トン)。 	
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に相次いで襲来した迷走台風により、丹後の大型定置網で漁具被害が多発 (台風12号で5件、台風15号で10件)。 ・ウルメイワシが定置網で好漁 (9月~10月に平年比8倍の63トン) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・9月が盛漁期のサワラ当歳魚(さごし)が不漁 (9月に平年比1割の21トン) ・エチゼンクラゲは2年連続で大量来襲せず (10月~11月に一部の定置網で散発的に少量の入網が確認されたのみ) 	
秋	<ul style="list-style-type: none"> ・10月下旬にサワラ(体重2~6キロ級主体)が主に定置網で好漁 (10月に平年比3.8倍の約99トン) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンサキイカ(白いか)が定置網や釣りで好漁 (9月~12月に平年比8.3倍の252トン) ・カマス類(アカカマス中心)が定置網で好漁 (10月~12月に平年比2.6倍の231トン) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・11月中旬以降にカツオが定置網で好漁 (11月~12月に平年比13倍の6.4トン) 	

【2011 年に見かけた珍しい魚】

下の写真は、2011 年に丹後の海で見られたあまりなじみのない魚の一例です。

ナガユメタチモドキ		サメガレイ	
 <p>全長：最大 2m 以上 (写真個体は 231cm) 分布：南日本など暖海域 (主に深場) 特徴：タチウオに似ていますが、小さな尾びれがあります。</p>		 <p>全長：約 50cm (写真個体は 29cm) 分布：北日本に多い 特徴：体表にいぼ状突起が多数あり、魚名のごとくサメ肌のようにざらついています。食用。</p>	
ロウソクチビキ	クロホシマンジュウダイ  刺毒魚	アカゲツ	
 <p>体長：約 30cm (写真個体は尾さ長 21cm) 分布：南日本など暖海域 特徴：背中が鮮やかな赤黄色をしています。食用。</p>	 <p>全長：約 40cm (写真個体は 31cm) 分布：南日本など暖海域 特徴：体表には黒い斑点。食用になるようですが、ヒレの棘には毒腺があるので注意が必要です。</p>	 <p>体長：約 40cm (写真個体は 20cm) 分布：日本各地の砂泥低 特徴：アンコウの仲間で、赤い背には多くの棘があります。底曳網などで時々混獲。可食部少ない。</p>	
ツバクロエイ  刺毒魚	ツルギエチオピア	アカウオ	
 <p>体長：約 50cm (写真個体は 18cm) 分布：本州中部以南 特徴：幅広の形状をしたエイの仲間。食用ですが、尾に毒針があるので注意してください。</p>	 <p>体長：約 80cm (写真個体は尾さ長 50cm) 分布：主に太平洋側 特徴：エチオピアに似ていますが、尾部にぜいごのような大きなとげが並んでいます。食用。</p>	 <p>体長：約 10cm (写真個体は全長 13cm) 分布：河口や浅海の砂泥域 特徴：紅色で細長く、目は退化して小さい。ハゼの仲間です。</p>	

【魚体をご提供頂いた方々】

伊根浦漁業株式会社, 京都府漁業協同組合大浦支所, 栗田漁業生産組合, 西川順之助様 (西漁丸), 真野隆夫様 (かみかぜ丸)

珍しい海の生物を発見された場合には、当所までご連絡いただくと幸いです。